

2022年8月27日 DXコース説明会 スマートエスイーDXコースにおけ るデジタルビジネスデザイナー育成



鷺崎 弘宜
早稲田大学 スマートエスイー 事業責任者
データ科学センター 管理委員



なぜ、

DXは進まないのか？

早稲田大学でまなぶデジタル変革の課題とコツ
—あなたが変わり、ビジネスを変える—

スマートシステム&サービスおよび
DX推進を担う人材の産学連携育成

アカデミックかつ実践的で他に類を見ないDX人材育成プログラム
産学から我が国のDXをリードする講師陣が集結し徹底指導
演習豊富な学びをぎゅっとコンパクトにパッケージ
オンライン講座とゼミ方式のディスカッションで、
これまでになかった学習体験を

なぜ、DXは進まないのか？

- DX格差:1,001名以上の企業群で8割以上、100名以下企業群3割未満
- 業務効率化中心、新サービス創出や根本的なビジネス・組織変革は限定的

	Why 目的	What 方法	How 進展
経営層	経営者が ビジョンを描けていない 。 重要性や意図を理解できていない。	DXの狙いを理解していない。 デジタルが目的化 。	取組がPoC（概念実証）どまり。 体制不十分。
CIO	権限や役割が与えられていない	具体的な指示へ落とし込めていない	事例を真似するばかりで 自社事情を考慮できず
事業部門	IT部門に丸投げ	部門ごとに やりたいことがバラバラ	全社的な推進に至らず
IT部門	DXの解釈・企画人材の不足 。 受け身体質。	IT部門で孤立的取り組み。 レガシーシステム。	技術ありきでビジネス不明瞭 。 レガシー刷新の目的化
外部関係者と関係	経営者自身による ビジョン発信欠如	ITベンダに丸投げ	オープンイノベーションの方法不明

IPA, デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進に向けた企業とIT人材の実態調査 https://www.ipa.go.jp/ikc/reports/20200514_1.html

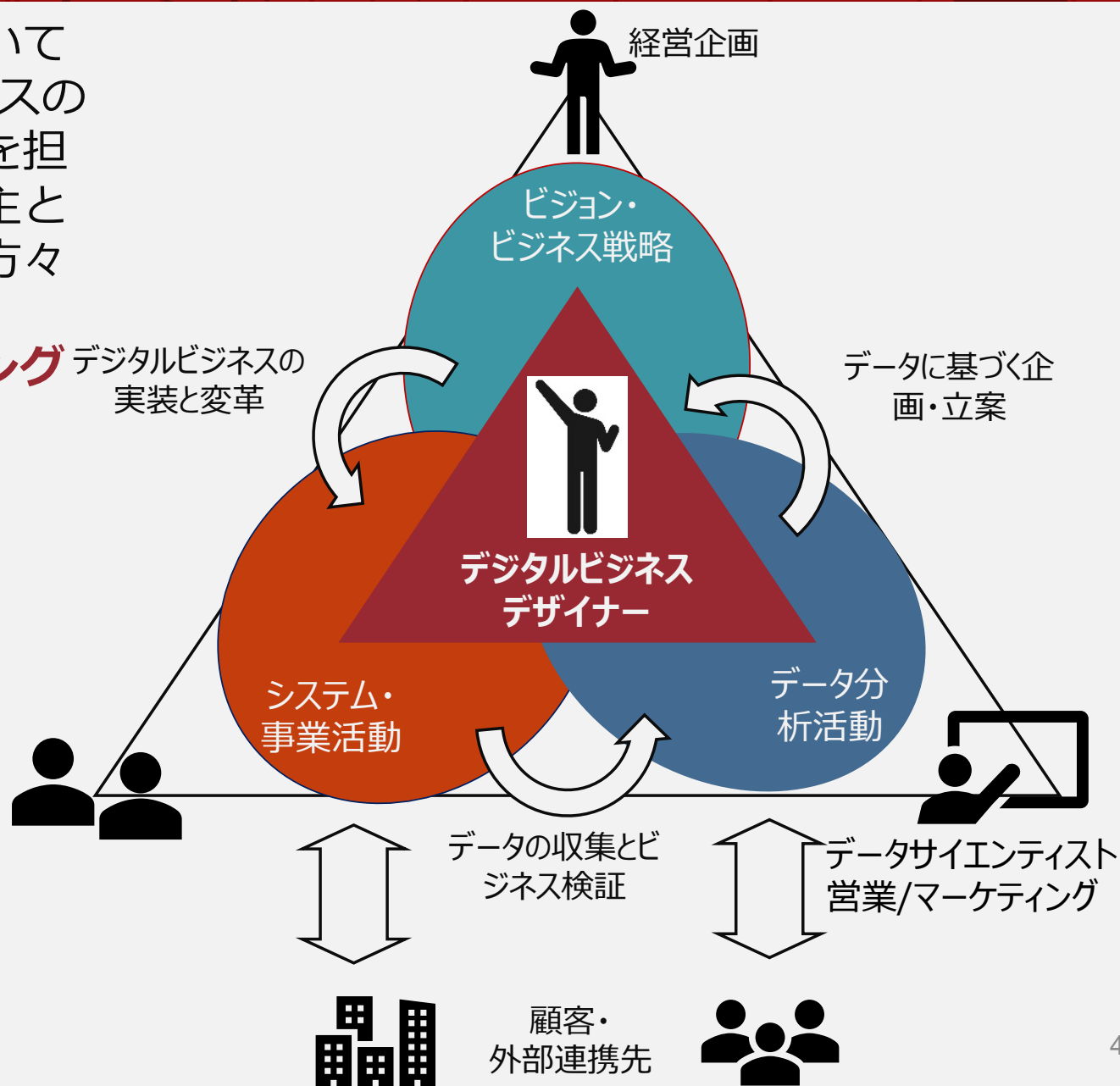
デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会 ワーキンググループ1 報告書(WG座長: 鷲崎)

<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201228004/20201228004.html>

DXコースの目標人材像: デジタルビジネスデザイナー

現在または将来において
DXやデジタルビジネスの
企画・立案・推進等を担
うことが期待される主と
して次の立場にある方々

- ・ **経営企画**
- ・ **営業/マーケティング** デジタルビジネスの
実装と変革
- ・ **情報システム部門**
- ・ **事業部門**



DXコース: 履修証明プログラム、10-2月、60時間以上

- 体系的: 体系的DX人材育成バックボーンをスタンダード参照整理により実現
- 理論と実践: 大規模な産学連携による講義演習とDXリーダー陣による指導
- オンラインとネットワーク: withコロナ時代に何時でもどこでも安全に意欲的に学び、キャリアアップ・チェンジを後押しするコンソーシアムのネットワーク

DXリテラシー標準
(DX基礎スキル・マインド)

SFIA Framework(
DX専門スキル)

総合実践

ビジネス

DXの背景
価値創造マインド
デザイン思考・アジャイル

デジタル戦略、イノベーション、投資
デジタル文化、スキル、能力

アプリケーション

データ&デジタル活用・ツール
留意点

デジタル技術の実現要因

情報処理

データ
デジタル技術

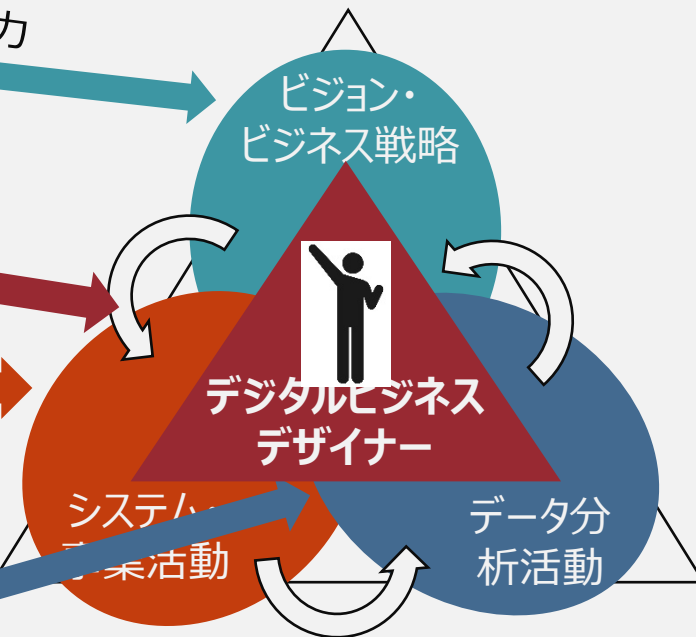
デジタルとデータの変換、変更、ガバナンス

抽象化・構想力

総合力

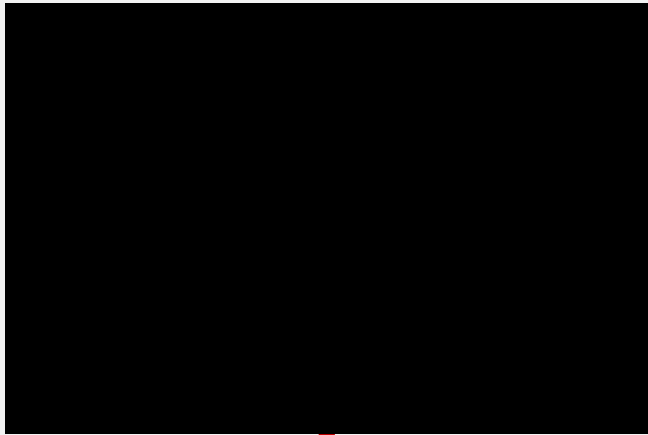
活用・実践力

データ分析力



オンライン&ハイブリッド: オンデマンド、リアルタイム配信、対面

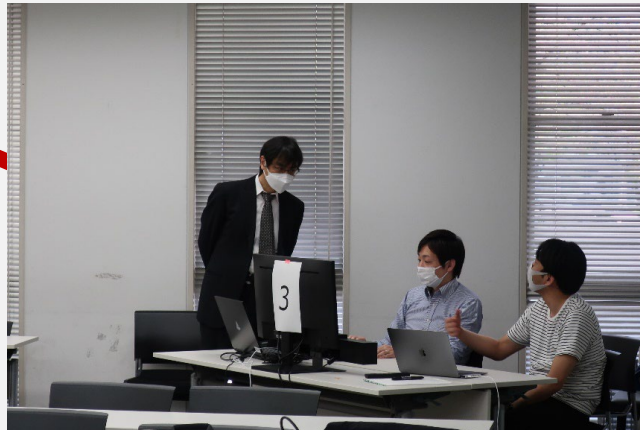
- フルオンラインで修了可
リアルタイム配信



- 一部の対面参加・交流ご希望可
オンデマンド

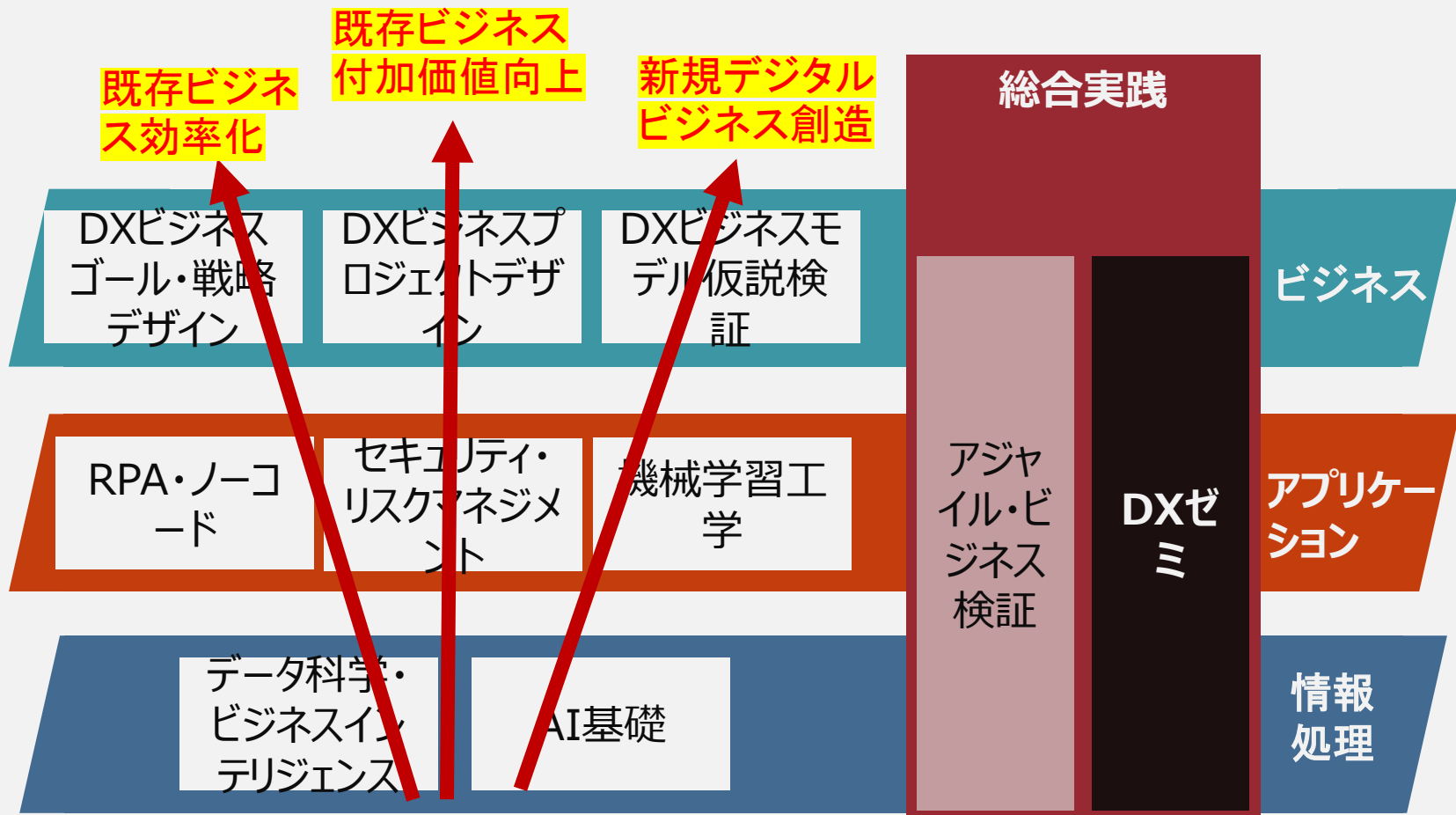


ハイブリッド・対面



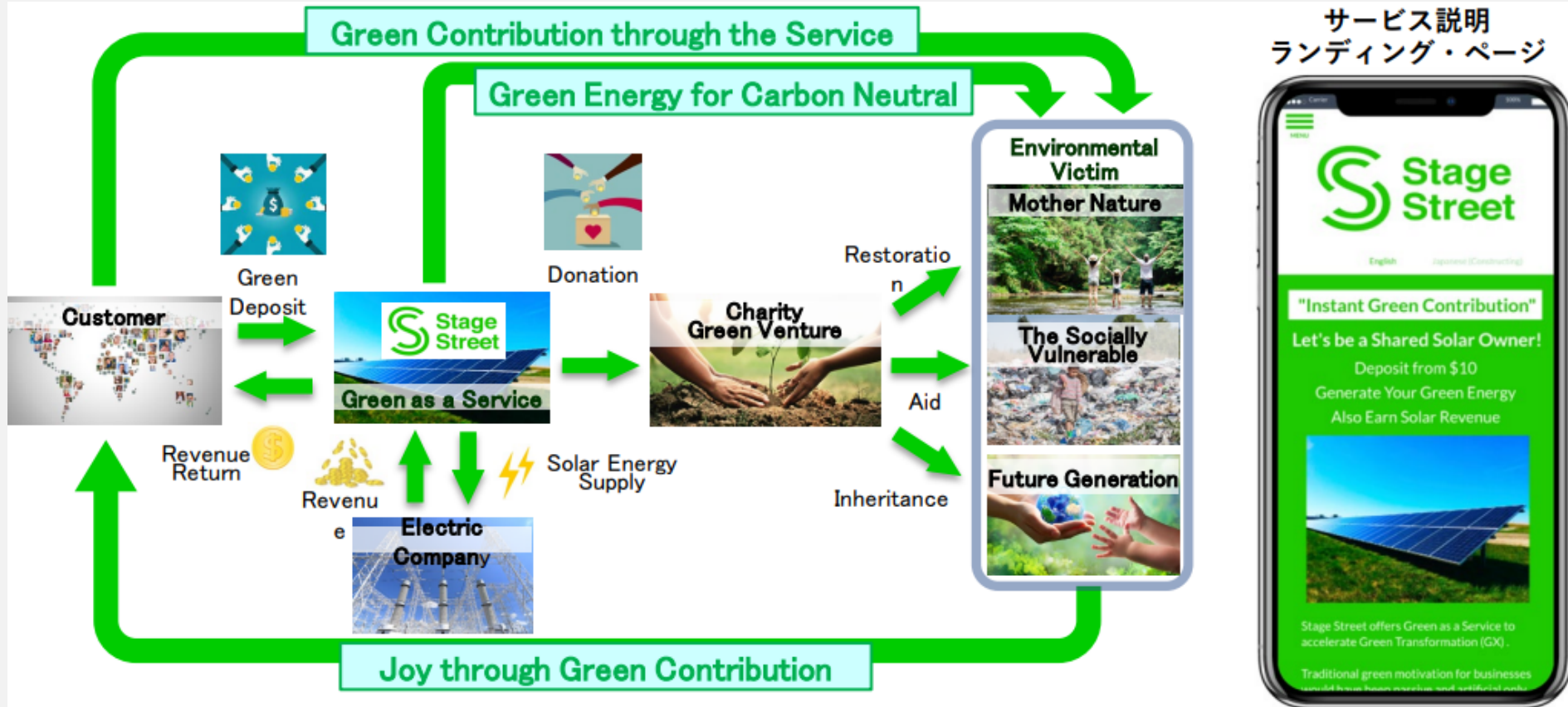
カリキュラム

- ・ 総合実践：すべての領域を総合、アジャイルマインド、DXゼミ必修
- ・ ビジネス：DXビジネス上のデジタル戦略、価値創造マインド、デザイン思考を習得
- ・ アプリケーション：セキュリティや迅速な開発、デジタル技術の留意点を習得
- ・ 情報処理：データとデジタル技術基礎を習得



例えば・・・

事例：グリーンイノベーションビジネスデザイン('21 IoT/AIコース 修了制作 薄田氏)



ビジネス

例：デザイン思考とゴール指向でグリーン価値明確化

アプリケーション

例：ノーコード開発ツールによるアプリ試作

情報処理

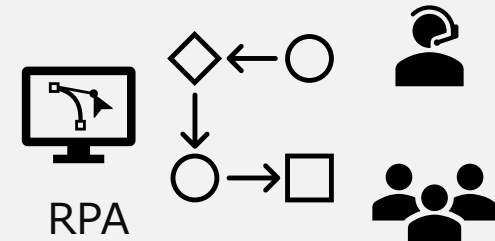
例：クリーンエネルギーほかデータの分析

DXゼミを通じた集大成のイメージ例

既存ビジネス効率化: RPAによる一部自動化を通じた箇所横断のビジネスプロセス変革

DXビジネス
プロジェクトデザイン

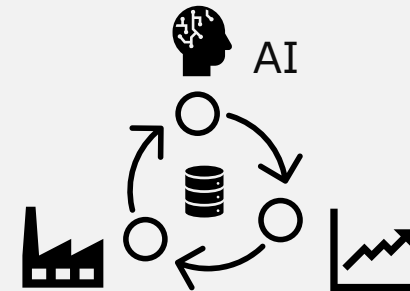
RPA・ノーコード



既存ビジネス付加価値: データ分析による将来予測・改善

DXビジネスゴール・
戦略デザイン

データ科学・
ビジネスインテリジェンス

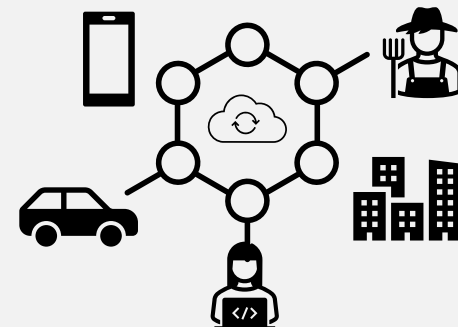


新規デジタルビジネス創造: 業界横断エコシステムデザインと顧客価値創造

DXビジネスモデル
仮説検証

機械学習工学

AI基礎



産学からの指導陣（予定）

【講義形態】●：ハイブリッド、●：オンライン、●：オンデマンド

領域	科目名	担当講師	所属	講義形態	双方向	分類	時間	単位	PBL	実務家 教員
総合	DXゼミ	鄭 顕志 スマートエー修了生	早稲田大学 それぞれの所属企業	●	○	必修	6	0.5	○	○
総合	アジャイル開発実習	土肥 拓生	デジタルアスリート（株）	●	○	必修	6	0.5	○	○
ビジネス	DXビジネス ゴール・ 戦略デザイン	野村 典文 新谷 勝利 山本 修一郎 他	ゴール指向デジタル戦略研究会 早稲田大学 招聘研究員 名古屋国際工科専門職大学	●	○	必修	12	1	○	○
ビジネス	DXビジネスプロジェクトデザイン	萩本順三 関 満徳 他	匠 BusinessPlace SHIFT、エクスパッション	●	○	選択	12	1	○	○
ビジネス	DX ビジネスモデル仮説 検証	堤 孝志	早稲田大学/ ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ （株）	● ●	○	選択	12	1	○	○
アプリケーション	セキュリティ・ リスク マネジメント	吉岡 信和 井口 誠	早稲田大学 Kii（株）	● ●	○	選択	6	0.5		○
アプリケーション	RPA・ ノーコード	増田 航太 吉田 将明 他	（株）システム情報 （株）クレスコ	●	○	選択	6	0.5		○
アプリケーション	機械学習工学	鷲崎 弘宜 吉岡 信和 内平 直志	早稲田大学 早稲田大学 北陸先端科学技術大学院大学	●	○	特別 聴講	12	1		○
情報処理	データ科学・ ビジネスインテリジェンス	坂本 一憲	東京通信大学/早稲田大学 WillBooster(株)	●	○	選択	12	1		○
情報処理	AI基礎	岡崎 正一 増倉 孝一	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム	●	○	選択	6	0.5		○

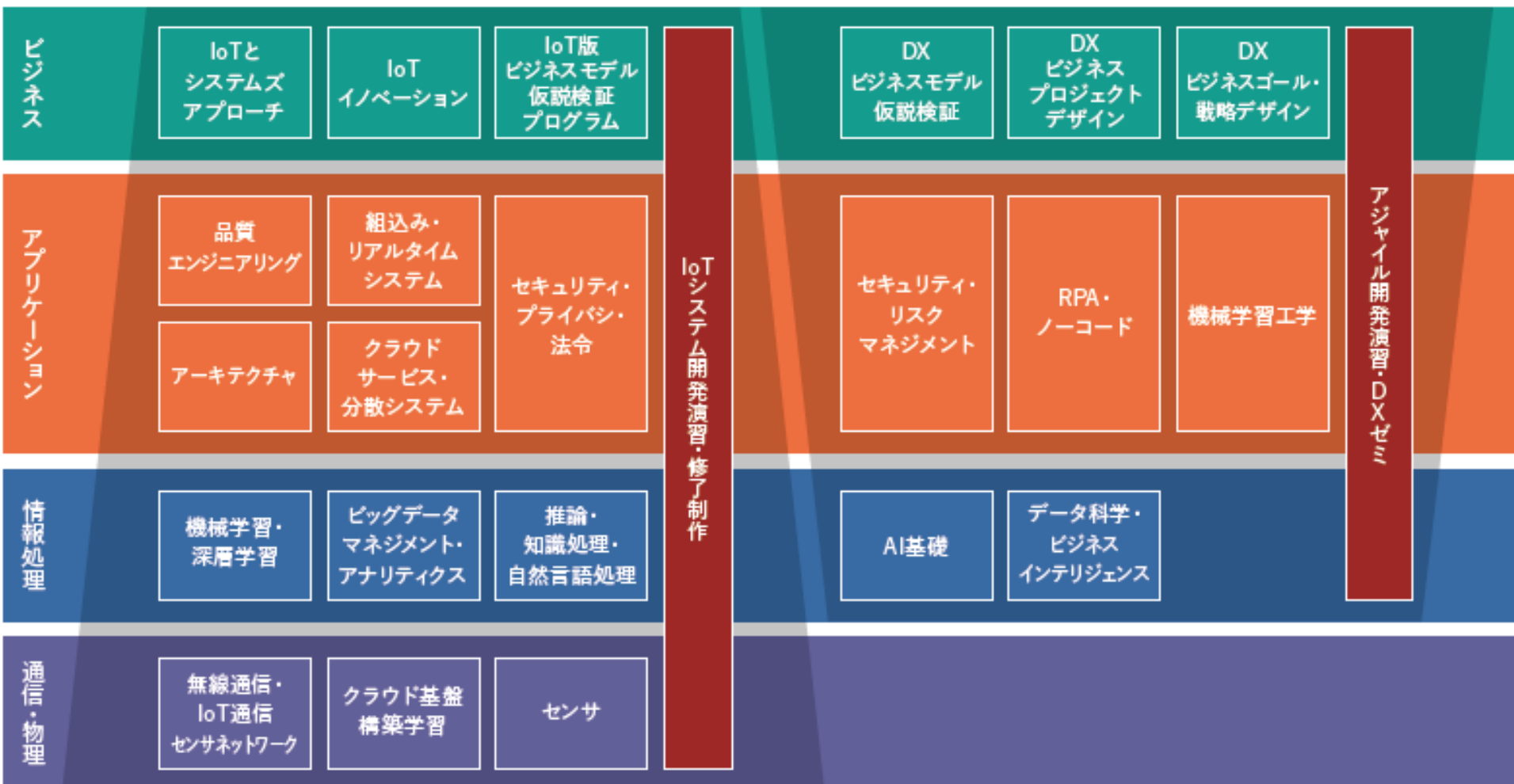
スマートエスイー: IoT/AI コースとDXコース

IoT/AIコース

ビジネス視点も備えて先端ITシステム等を担う人材

New DXコース

デジタルを理解しビジネスデザイン・DX推進を担う人材



スマートエスイー: IoT/AI コースとDXコース



	スマートエスイー IoT/AIコース (旧称: 正規履修)	スマートエスイー DXコース
履修要件	IoT検定中級合格者、 またはそれ相当の知識、 実務経験を有すること 。 学校教育法第90条に規定する大学に入学することができるもの。	ビジネスの実務経験を有すること 。 学校教育法第90条に規定する大学に入学することができるもの。
学習目標	修了時IoT検定上級合格レベルを目標とし、 IoT、クラウド、ビッグデータ、人工知能の 各技術を活用したスマートシステム&サービスを提供し、 領域を超えた価値創造をグローバルにリード可能な人材	デジタルを理解・活用し、これまでにない形で課題を解決して 新しいビジネス価値やユーザ体験を作りだすことができる、 DXやおよびデジタルビジネスの企画・立案・推進等を担う人材
時間と領域	120時間以上、約6ヵ月 ビジネス、アプリケーション、情報処理、通信・物理	90時間以上、約4か月 ビジネス、アプリケーション、情報処理
育成する能力	技術面(通信物理、情報処理、アプリケーション)と ビジネス要素を加えて フルスタックに学び、 イノベーションを促進する力を育成する 。	ビジネス、アプリケーション、情報処理の各領域をそれぞれ履修し、 全体を俯瞰しつつ、新しいビジネス体系や業務体系の進化 などDX推進を主導できる能力を獲得する 。
コースの特色	チーム実習(PBL)とマンツーマンによる修了制作指導	アジャイル開発演習(PBL)とゼミ形式による個人・グループ制作
人材像	専門技術を深化しつつ各レイヤを理解し各技術 及びビジネス・社会システムを俯瞰的にとらえて イノベーションを推進できるフルスタックのエンジニア	シナジー デジタル技術とDXの本質を理解しDXならではの ビジネス手法を用いて技術者対話しながらビジネスモデルの 変革およびDXを推進できる経営企画・営業/マーケティング・ 事業推進者を基礎としたデジタルビジネスデザイナー

さらなる活躍へ: スマートエスイーコンソーシアム



教育・教材の活用

科目スポット履修
オンサイト研修

情報共有・交流

オンラインセミナー
シンポジウム

共同調査研究

DX戦略WG
マッチング産業フォーラム

岡崎事 内平JAIST 鷺崎
務局長 副学長 事業責任者



笠原 石川県 小松製作所
副総長 谷本知事 大橋会長

地区展開

北陸先端科学技術
大学院大学

群馬大学
茨城大学

東京
拠点

大阪大学
奈良先端科学技術
大学院大学

早稲田大学
国立情報学研究所
東京工業大学
東京学芸大学
東京工科大学
東洋大学
鶴見大学
北陸先端科学技術大学院大学（
東京サテライトキャンパス）

早稲田大学
（北九州キャンパス）
九州大学

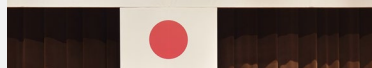


未来投資戦略
2018



IMS Japan賞
IMS Japan Society

科学技術分野の文部科学大臣表彰



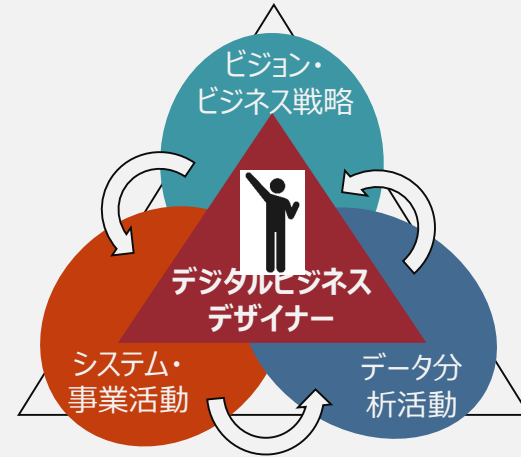
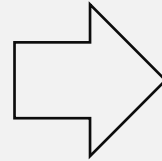
EIC
教育優秀賞贈呈



Brush up Program
for professional

ぜひ、スマートエスイーDXコースをご活用ください！

DX推進に向けた成長機会として。組織の体系的なDX人材育成機会として。



早稲田大学データ科学センターの社会人教育

- **スマートエスイー DXコース**
 - 形式: 60時間以上、4か月、履修証明、対面とオンラインハイブリッド
 - 対象: 新たなデジタルビジネスやビジネスモデル変革の企画や推進を担いたい方
- **スマートエスイー IoT/AIコース**
 - 形式: 120時間以上、6か月、履修証明、対面とオンラインハイブリッド
 - 対象: IoT、AIを中心に最先端ICTを幅広く学び、ビジネスへ役立てたい方
- **データサイエンス実践講座**
 - 形式: 108時間、5か月、履修証明、オンデマンド・オンライン
 - 対象: データサイエンスの「理論」とビジネス領域で活用できる「スキル」を同時に学び、データサイエンスを実践的に活用したい方